

令和 8 年度第 1 回鉾田市総合計画審議会 議事録

日時：令和 8 年 7 月 10 日（金）

午後 2 時から

場所：鉾田市役所 2 階大会議室

1 開 会

2 委嘱状交付

3 市長あいさつ

本日はご多用のところ、令和 8 年度第 1 回鉾田市総合計画審議会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、本日委嘱状を交付させていただきました委員の皆さまには、ご就任を快くお引き受けいただきましたことを、心より御礼申し上げます。皆さまには、それぞれの立場や豊富な経験等を生かし、本市の将来を見据えた計画づくりにお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。さて、本年度は、新たなまちづくりの指針となる、第 3 次総合計画の策定に着手いたします。計画期間は令和 9 年度から令和 18 年度までの 10 年間で、本市の将来像と施策を示す、市制運営の最上位計画となります。本市においては、人口減少や少子高齢化の進行、デジタル化の進展、自然災害の対応など、取り巻く環境は大きく変化しております。一方で、全国有数の農産物産地として培ってきた力や豊かな自然環境など、多くの魅力があります。こうした強みを活かし、持続可能で活力あるまちづくりを進めるため、実効性のある施策を策定してまいります。本日の審議会では、会長・副会長の選任をはじめ、策定方針や今後の進め方についてご審議をいただきます。委員の皆さまには忌憚のないご意見やご提案を賜りますよう、お願い申し上げ、開会にあたっての挨拶といたします。本日はどうぞ、よろしくお願いいたします。

4 議 事

（１）会長・副会長の選出について

- 会長：ただ今、本審議会の会長に選任されました、よろしくお願いいたします。
- 副会長：同じく副会長に選任されました、よろしくお願いいたします。
- 事務局：ここで審議会の諮問を行います。市長、お願いします。
- 市長：委員の皆さんには、令和 9 年度から 10 年間の鉾田市のまちづくりの指針となる、第 3 次鉾田市総合計画の策定について、ご審議いただく、諮問をいたします。なお、諮問書の詳細につきましては、事務局より代読させますので、よろしくお願いいたします。
～事務局より諮問書の代読～

（２）第 3 次鉾田市総合計画の策定について（説明：事務局）

○会長：ありがとうございました。ただ今の事務局の説明に対し、質問やご意見等いかがか。
それでは、第3次銚田市総合計画の策定について、事務局の説明の通り進めるということで、ご異議はないか。最後に、その他についてお願いしたい。

(3) その他

○委員：以前の会議で、第2次銚田市まち・ひと・しごと総合戦略をいただいたが、それはまだ生きているのか。

→事務局：今ご質問いただいた、まち・ひと・しごと総合戦略については、令和7年3月に計画の更新を行い、現在第3期の総合戦略が策定されている状態。

○委員：その計画は、今日の会議の下にあるのか。

→事務局：今回の総合計画は市の最上位計画で、総合戦略は地方創生、人口減少対策などに特化した計画という位置づけになっている。あくまでも総合計画が市の最上位計画。

○委員：ダブってしまうものもたくさんあるのではないか。

→事務局：まち・ひと・しごと総合戦略は地方創生に特化しているので、総合計画とダブってしまうことは当然ある。

○委員：いろんな会議に出ているが、ダブってしまい、何を見るのか迷ってしまうことがある。整理していただきたいと思う。

○会長：ありがとうございます。他はいかがか。

○委員：今日の説明ではよく見えないというのが正直なところ。たたき台は、行政の総合計画策定委員会や庁内ワーキングチームをベースにするのか、それともコンサルが作ってくるのか。我々はどうに関わっていくのか。出てきたものに対して意見を言うのか。各課でいろんな案や考えがあると思う。それをどのように組み込むのか。我々が言いたいことは取り上げてもらえるのか、どのように関わるのかがよく見えない。ここに書かれているようなものでは、どこでも同じようなものができてしまう。せっかくこれだけの方が集まるのであれば、少しは銚田らしいものにしていきたい。同じものを作っても、結論が変わりなければ意味がない。例えば銚田の人口減少対策も、他から来る人を増やすことはなかなか難しい。せっかく貴重な時間を使って皆さんが集まっている。それぞれいろんな考えがある。それをどのように反映していくのか。コンサルが作ったものを追認するただけに来るのならば意味がない。そのあたり、よくお聞きしたい。

→事務局：進め方としては、庁内の策定委員会である程度形にしたものを、審議会で審議いただく。もちろん様々な分野から集まっていた20名の委員の皆さまからのご意見をいただき、それぞれの分野ごとの担当課にフィードバックして、計画への反映を検討し、次に確認するということを繰り返して、形にしていければと思っている。

○委員：審議会が6回ということは、第1回と第6回はないので、4回しかない。それでは無理ではないか。我々が宿題としてやってこないといいものはできないのではないか。ここに来た時だけの話では、圧倒的に時間が少ないと思っている。

→事務局：ご意見はごもっともだが、ベースとなるものがないと意見は出しづらい。そういったものができたら、なるべく早い段階で皆さまにお示しし、ご意見を返していただくような形で進めさせていただければと思う。よろしくお願いします。

○会長：その他ご意見はいかがか。

○委員：今の事務局のお答えは、縦割りの行政機能の下にある、策定委員会で作ったものをこの審議委員会で揉んで、より良いものを作っていくということ。ついてはひとつお願いしたい。来年3月までに第3次計画を作るということを、市民の皆さんにお知らせし、策定にあたりご意見等あれば、策定委員会宛てにご意見等をお寄せくださいというようなお知らせをしてはいかがか。

→事務局：市民の皆さまのご意見を聴取する機会は大変重要なことだと思っている。どういった形で行うのかは、今この場でお答えするのは難しいのだが、市民のご意見を反映できるものにしたい。

○会長：その他ご意見はいかがか。

○委員：先ほど、たたき台をこの委員会で審議するということだったが、いろんな意見があるので、ひとつにまとまらない可能性が高いと思っている。その時に、どのようにするのか。人それぞれ考えがあり、関わっている分野の専門性も違う。専門の方の意見とそうでない人の意見もある。自分の専門分野以外はわからないこともあるので、その際にはどのようにご理解いただくか。前もって資料を郵送していただいて検討し、その検討した結果をこの場で意見交換するのがいいと思うのだが、皆さんはいかがか。

→事務局：ご指摘の通り、なるべく早く皆さまに資料をお送りさせていただきたい。資料として様々な素材も提供し、ご意見が出しやすいようにしていきたい。

○会長：その他ご意見はいかがか。

○委員：次回の計画でもSDGsを表に出すのか。元々手間をかけて作っているもので、問題のない文章で整っているが、具体的な数字の目標などには立ち入っていない。これは市民にとってはバイブルで、これを基にして行動する。市職員も毎日そばに置いて、これに沿って仕事をしなければならないということもある。銚田市らしい数字があってもいいのではないか。

→事務局：バイブルというお話があったが、まさしくこの総合計画は市の最上位計画。職員にとっても市民の皆さまにとっても、市がそれを目指して進んでいくということがわかる計画となる。そういった視点を持ちながら、計画策定にあたっていきたい。

○委員：SDGsについてはどうか。

→事務局：SDGsは今難しい岐路にたっている。どのような計画に反映するかは検討させていただきたい。

○会長：その他ご意見はいかがか。よろしいか。ではこれで終結する。ご協力ありがとうございました。

5 閉 会

以上